

ナゴヤ劇場ジャーナル®

◆発行／マネージメント・プロ ◆編集／プランニングオフィス白壁 ◆協賛／クラシック名古屋

音楽ペンクラブ賞に ピアニスト山内敦子

の森内敦子が選ばれ、表彰式が行われた。3年2月26日(日)、会館ザ・コンサートホールで開いたピアノコンサートでは、イタリイタルにおいて、スキーの組曲「鏡」、抽写、多彩な音楽が演奏された。

リサイタルは今回で1回を数え、昨年秋には現代舞踊とのコラボレーションなど活動の幅を広げていることも評価された。

同クラブは音楽学者評論家、ジャーナリストら10人で構成。前年度に名古屋地区で行われた々に、これまで計47件を実現している。

演奏パフォーマンスはライブから配信の時代へー。名古屋の上社に配信システムを完備したミュージック・ホール「KANADE」がオーブン。さまざまなジャンルの地元演奏家に活用を呼び掛けている。

最大客席数は50席。清潔感あふれる美しいホールである。ファミリーコンサートや演奏セミナーなど用途は多彩だが、一番の特長は「配信」。支配人の安藤隆は「ライブ配信に興味はあるが、そのノウハウが



名古屋の上社に音楽配信の拠点
ミュージック・ホール「奏」誕生



名古屋テアトロ管弦楽団／合唱団



分からぬ人、コンクールやオーディションに提出するための録音、画(は)んなご要望に応させていたたきますと門戸を開く。

多彩な演奏技術で多彩な音楽に挑戦

ギタリスト戸城孝啓

アコースティック、エレキと多才なギタリストを操るギタリスト 戸城孝啓。代表を務める「ワンボランスタジオ」は、各種ギターのセミナーを開いている。

ギターの弾き方を魅せられたのは中学校時代の時。高校入学と同時にエレキを買ってバ

(22年)と、コンサート形式とはいえ充実した達奏を披露し、オペラファンの心をつかんでいる。

★チケット 全自由席4,000円(当日4,500円)6月1日より発売!

- ◎舞踊団作品『PIANO & DANCE』『響』
- ◎全国舞踊コンクール・こうべ全国洋舞コンクール参加作品
　眞童舞踊部門第1位文部科学大臣賞受賞作品他上位入賞作品

【問い合わせ】かやの木芸術舞踊団公演事務局 ☎0120-678-899
〒508-0045 由津川市かやの木町4-17 <http://www.buyou-kayanoki.com/>



ズやクラシックの面白さも分かるようになります。今までシャンソンへの興味にも少しがつていて感じることあります。一番自分の色があるギターデュオのユニット「小鳥と象」でも、ボサノバ、ジャズ、歌謡曲と多様なジャンルになったという。ギタリスト、講師には、作曲、プロデュースなど、音楽への関わり方も多岐にわたります。作曲では「1曲につき、1個はキラリと光る部分を作る」ことを心掛けている。

ナゴヤ劇場ジャーナル®

趣向凝らした「タイスの瞑想曲」

ローズバレエ
小牧・名古屋（貴船）で
スタジオを展開するローズ
バレエアカデミー代表・財満恭子）が第8回
発表会（5月4日・小牧
市民会館）を開催した。
プログラムは「ドン・

キホーテ」で華やかにステ
ート。ボレロ（闘牛士と踊り子）に続いて、浅田
真琴らアカデミーの精銳
8人がさっそく居並ぶ。キトリ・小林優月は愛らしく、ヴァリエーションの財満都美が伸びやかで美しく躍動した。

続く第2部はスイング・ジャズの名曲「インザムード」で開幕。続いてジュー・マスネの名曲「タイスの瞑想曲」を披露した。快楽的に生きる娼婦・クルチザン（財満恭子）と、彼女を深み込む修道士（中尾充宏）の愛と葛藤。



「タイスの瞑想曲」のワンシーン

伊藤美紅が、クルチザンの揺れ動く胸中をうたうた。王子役の沖潮隆之の力強いサポートに支えられ、気負うことなく大役を踊り切った。結婚式の場ではシンデレラ竹下永茉とラローニ・財満都美が印象に残った。

第3部の主作品は「眠れる森の美女」。勇気、元気のん気などを表現した妖精たちのアンサンブルが好演。オーロラ姫は花の女神役の財満紫音

が「フローラの自覚め」で花の女神役の財満紫音になつた。（寺村敏）

アカデミーのトップダンサー石黒一枝。大阪から招いた王子役の沖潮隆之の力強いサポートに支えられ、気負うことなく大役を踊り切った。結婚式の場ではシンデレラ竹下永茉とラローニ・財満都美が印象に残った。

「ノモス・ガンマ」では指揮者を舞台中央に置き、97人の奏者がその周囲を6重の同心円で囲む前代未聞のパフォーマンス（作曲者の意向）

が華麗。客演の南野高廣と茂木恵一郎が、さまざま役を精力的に踊つた。「ライモンダ」ほか多数のヴァリエーションに「サクラ・ミュージカル・カンパニー」（岩倉市）の作品も組み入れるなど、意欲あふれる発表会になつた。（寺村敏）

ナーレは「ボレロ」。ファンにとっては見逃すことのできない豪華なメニューである。

それだけではない。後半、イアンニス・クセナキス（1922～2001年）の現代音楽「ノモス・ガンマ」では指揮者を舞

台中央に置き、97人の奏者がその周囲を6重の同心円で囲む前代未聞のパ

フォーマンスを聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築家で、音楽に対して従来の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試みた異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

ナーレは「ボレロ」。ファン

クセナキスは元々建築

家で、音楽に対して従来

の作曲家とは全く違う観

点からアプローチを試み

た異才の人。「ノモス・ガ

ンマ」を聴き私が陥つたのは、恐竜たちが支配す

る原始世界。そして激しい打楽器の音はマシンガンか。私は異界の真っただ中に放り込まれたの

である。（植田三郎）

アカデミーのトップダンサー石黒一枝。大阪から招いた王子役の沖潮隆之の力強いサポートに支えられ、気負うことなく大役を踊り切った。結婚式の場ではシンデレラ竹下永茉とラローニ・財満都美が印象に残った。

第3部の主作品は「眠れる森の美女」。勇気、元気のん気などを表現した妖精たちのアンサンブルが好演。オーロラ姫は花の女神役の財満紫音

が「フローラの自覚め」で花の女神役の財満紫音になつた。（寺村敏）

アカデミーのトップダンサー石黒一枝。大阪から招いた王子役の沖潮隆之の力強いサポートに支えられ、気負うことなく大役を踊り切った。結婚式の場ではシンデレラ竹下永茉とラローニ・財満都美が印象に残った。

第3部の主作品は「眠れる森の美女」。勇気、元気のん気などを表現した妖精たちのアンサンブルが好演。オーロラ姫は花の女神役の財満紫音

が「フローラの自覚め」で花の女神役の財満紫音になつた。（寺村敏）

アカデミーのトップダンサー石黒一枝。大阪から招いた王子役の沖潮隆之の力強いサポートに支えられ、気負うことなく大役を踊り切った。結婚式の場ではシンデレラ竹下永茉とラローニ・財満都美が印象に残った。

第3部の主作品は「眠れる森の美女」。勇気、元気のん気などを表現した妖精たちのアンサンブルが好演。オーロラ姫は花の女神役の財満紫音

が「フローラの自覚め」で花の女神役の財満紫音になつた。（寺村敏）

アカデミーのトップダンサー石黒一枝。大阪から招いた王子役の沖潮隆之の力強いサポートに支えられ、気負うことなく大役を踊り切った。結婚式の場ではシンデレラ竹下永茉とラローニ・財満都美が印象に残った。

第3部の主作品は「眠れる森の美女」。勇気、元気のん気などを表現した妖精たちのアンサンブルが好演。オーロラ姫は花の女神役の財満紫音

が「フローラの自覚め」で花の女神役の財満紫音になつ

◇推奨公演◇

△77・7△

3人の劇作家＝佃典彦、中村亜季、徳川昌子＝が挑戦する。6月23～25日（全4回）千種文化小劇場で公演される「77・7」（構成・演出・小林七緒）である。

ピアノ奏家・小原道夫
帰国15周年リサイタル
7月26日 電気文化会館

ピアノの原型とされる古楽器「ボルテピアノ」を専門に演奏する小原道夫が7月26日（午後7時）電気文化会館で帰国15周年リサイタル「独創独歩（どっぽっぽ）」で、ドイツ・ポルトガル・フランスの3人旅を開く。

小原は愛知県立芸大（音楽学コース）卒業後渡独。7年間にわたりチエンバロとボルテピアノの奏法を学び2008年に帰国。18年に「帰国10周年記念リサイタル」を開催。活動成果が評価され、日本で最も実績のある

3作すべてで出演。しかも3作は、休憩なしで一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3倍になる。しかも3日間で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝が書き下ろした短編3作に、3人のベテラン女優＝いのこ福代、鹿目由紀、はせひろいが挑戦する。6月23～25日（全4回）千種文化小劇場で公演される「77・7」（構成・演出・小林七緒）である。

タイトルの「77・7」は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3倍になる。しかも3日間で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝が書き下ろした短編3作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短編3

作に、3人のベテ

ラン女優＝いのこ福代、

鹿目由紀、はせひろい

が挑戦する。6月23～

25日（全4回）千種文

化小劇場で公演される

「77・7」（構成・演出・

小林七緒）である。

タイトルの「77・7」

は3女優の平均年齢（最

高齢は84歳とか）。3人は3作すべてで出演。し

かも3作は、休憩なしで

一挙に上演される。3人の負担は通常の芝居の3

倍になる。しかも3日間

で4公演。大変な負担である。

中村亜季、徳川昌子＝

が書き下ろした短

楽しく珍しいブーランクの室内楽

レーベインムジーク

室内楽集団レーベインムジークのブーランクの室内楽

気だった。最後はアーランクの有名な「フルート・

かな技術で締めた。

選曲良し、二重奏の相性も良し

い。ハープとクラリネットの二重奏は初めて聴いたが、音色がよく合う。

最後は近代フランスのハープ奏者ルニエの「交響的小品」。三つのエピソードでつづるバラード風の作品。しっかりしたテクニックでドラマチックに盛り上げた。昨年より一段

と成長したようだ。

した音で、同芸大の実力を実感した。次回は9月5日のチエロ協奏曲。

内楽全曲演奏会(全3回)の2回目(3月30日・電気文化会館)。珍しい作品が聴けたのが収穫だった。

今回もピアノ桑野郁子

らおなじみのメンバーに

大学生、院生を加え総勢

10人。前半は庄司直央が

「クラリネット・ソナタ」、

野村花が「オーボエ・ソ

ナタ」で桑野がサポート。

春日井久美子と高木俊彰

がオネゲル「ヴァイオリ

ンとチェロのためのソナ

チネ」。3曲とも近代フラン

クス的で楽しい。若い2

人が頑張った。

後半、同時代のダメー

ズ「3本の管楽器とピア

ノのための四重奏曲」は、

ぎやか。対照的にケクラン「7つの楽器のため

のソナタ」は静かな雰囲

気だった。最後はアーラ

ンクの有名な「フルート・

かな技術で締めた。

選曲良し、二重奏の相性も良し

い。ハープとクラリネットの二重奏は初めて聴いたが、音色がよく合う。

最後は近代フランスのハープ奏者ルニエの「交響的小品」。三つのエピソードでつづるバラード風の作品。しっかりしたテクニックでドラマチックに盛り上げた。昨年より一段

と成長したようだ。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが、丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。



ムジークのブーランク室

内楽全曲演奏会(全3回)の2回目(3月30日・電

気文化会館)。珍しい作品

が聴けたのが収穫だった。

今回もピアノ桑野郁子

らおなじみのメンバーに

大学生、院生を加え総勢

10人。前半は庄司直央が

「クラリネット・ソナタ」、

野村花が「オーボエ・ソ

ナタ」で桑野がサポート。

春日井久美子と高木俊彰

がオネゲル「ヴァイオリ

ンとチェロのためのソナ

チネ」。3曲とも近代フラン

クス的で楽しい。若い2

人が頑張った。

後半、同時代のダメー

ズ「3本の管楽器とピア

ノのための四重奏曲」は、

ぎやか。対照的にケクラン「7つの楽器のため

のソナタ」は静かな雰囲

気だった。最後はアーラ

ンクの有名な「フルート・

かな技術で締めた。

選曲良し、二重奏の相性も良し

い。ハープとクラリネットの二重奏は初めて聴いたが、音色がよく合う。

最後は近代フランスのハープ奏者ルニエの「交響的小品」。三つのエピソードでつづるバラード風の作品。しっかりしたテクニックでドラマチックに盛り上げた。昨年より一段

と成長したようだ。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが、丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。

ムジークのブーランク室

内楽全曲演奏会(全3回)の2回目(3月30日・電

気文化会館)。珍しい作品

が聴けたのが収穫だった。

今回もピアノ桑野郁子

らおなじみのメンバーに

大学生、院生を加え総勢

10人。前半は庄司直央が

「クラリネット・ソナタ」、

野村花が「オーボエ・ソ

ナタ」で桑野がサポート。

春日井久美子と高木俊彰

がオネゲル「ヴァイオリ

ンとチェロのためのソナ

チネ」。3曲とも近代フラン

クス的で楽しい。若い2

人が頑張った。

後半、同時代のダメー

ズ「3本の管楽器とピア

ノのための四重奏曲」は、

ぎやか。対照的にケクラン「7つの楽器のため

のソナタ」は静かな雰囲

気だった。最後はアーラ

ンクの有名な「フルート・

かな技術で締めた。

選曲良し、二重奏の相性も良し

い。ハープとクラリネットの二重奏は初めて聴いたが、音色がよく合う。

最後は近代フランスのハープ奏者ルニエの「交響的小品」。三つのエピソードでつづるバラード風の作品。しっかりしたテクニックでドラマチックに盛り上げた。昨年より一段

と成長したようだ。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが、丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。

ムジークのブーランク室

内楽全曲演奏会(全3回)の2回目(3月30日・電

気文化会館)。珍しい作品

が聴けたのが収穫だった。

今回もピアノ桑野郁子

らおなじみのメンバーに

大学生、院生を加え総勢

10人。前半は庄司直央が

「クラリネット・ソナタ」、

野村花が「オーボエ・ソ

ナタ」で桑野がサポート。

春日井久美子と高木俊彰

がオネゲル「ヴァイオリ

ンとチェロのためのソナ

チネ」。3曲とも近代フラン

クス的で楽しい。若い2

人が頑張った。

後半、同時代のダメー

ズ「3本の管楽器とピア

ノのための四重奏曲」は、

ぎやか。対照的にケクラン「7つの楽器のため

のソナタ」は静かな雰囲

気だった。最後はアーラ

ンクの有名な「フルート・

かな技術で締めた。

選曲良し、二重奏の相性も良し

い。ハープとクラリネットの二重奏は初めて聴いたが、音色がよく合う。

最後は近代フランスのハープ奏者ルニエの「交響的小品」。三つのエピソードでつづるバラード風の作品。しっかりしたテクニックでドラマチックに盛り上げた。昨年より一段

と成長したようだ。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが、丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。

ムジークのブーランク室

内楽全曲演奏会(全3回)の2回目(3月30日・電

気文化会館)。珍しい作品

が聴けたのが収穫だった。

今回もピアノ桑野郁子

らおなじみのメンバーに

大学生、院生を加え総勢

10人。前半は庄司直央が

「クラリネット・ソナタ」、

野村花が「オーボエ・ソ

ナタ」で桑野がサポート。

春日井久美子と高木俊彰

がオネゲル「ヴァイオリ

ンとチェロのためのソナ

チネ」。3曲とも近代フラン

クス的で楽しい。若い2

人が頑張った。

後半、同時代のダメー

ズ「3本の管楽器とピア

ノのための四重奏曲」は、

ぎやか。対照的にケクラン「7つの楽器のため

のソナタ」は静かな雰囲

気だった。最後はアーラ

ンクの有名な「フルート・

かな技術で締めた。

選曲良し、二重奏の相性も良し

い。ハープ